

平成 28 年 10 月 23 日

平成 28 年度豊岡市健康大学講義抄録

平成 28 年 10 月 19 日

「市内医療機関・介護事業所マップ」の活用法

豊岡市高年介護課 伊達 史典
いがらし医院 五十嵐祐一郎

(講義の狙い)

今後益々整備の必要のある「在宅医療・介護連携」を見据え、昨年度全戸配布された市民向け「市内医療機関・介護事業所マップ」の活用法をその編集者、監修者がわかりやすく解説する。

(はじめに)

今後さらに進む少子高齢化に対応するため、行政を中心に「地域包括ケアシステム」の構築が急がれている。その中核とも言える「在宅医療・介護連携」は医師、歯科医、薬剤師、看護師、介護支援専門員など多職種の連携が重要である。一方、その利用者・家人等にとっては、介護保険制度の複雑さもあって、制度の全容・各職種の役割を理解できているとはいえない。今回その理解の一助として、「市内医療機関・介護事業所マップ」を教材にして、「在宅医療・介護連携」について解説する(五十嵐祐一郎担当)。

(豊岡市の在宅医療の実態)

平成 27 年 6 月現在、「在宅医療」を実施している医療機関は豊岡市医師会管内では 38 機関であり、「在宅医療」実施が可能な医療機関はほぼ全て実施している。その担当患者数は約 360 名である。「在宅看取り」実施医療機関数も全国 5~20 万人都市のなかでもトップクラスである。豊岡市の人口動態の推計では、今後 10 年間は 65 歳以上の高齢者の総人口は横ばいとされており、その結果「在宅医療」対象患者数も大きな増減はないと考えられる(五十嵐祐一郎担当)。